

魚津2040会議 冒頭説明

1. 2040会議の意義
2. 2040会議の役割
3. 2040会議の進め方

2019.4 魚津市公共施設再編推進室

1. 2040会議の意義

財政健全化に向けた取り組み

- 市は財政悪化により、平成31年9月を目途に**公共施設再編方針等の見直し**を行い、今後5年間の財政健全化計画を策定します。

会議の趣旨

- 公共施設のあり方検討にあたっては、**施設更新や維持管理経費の負担が将来にわたることから、20代～40代の若い世代の意見や声を十分反映すること**が必要です。

補足：公共施設等のあり方見直しの意義

- 少子高齢化の進展により、税収に対する社会保障費の大きさが顕著となり、**国民負担の適正化や行政サービス水準の確保**が課題となっています。
- 加えて、人口増や高度経済成長を背景に整備された**公共施設等が老朽化**しており、それらの**維持更新のための経費確保**も課題となっています。
- 人口減少・少子高齢社会やライフスタイルの変化といった社会の変化、さらには社会の変化によって生じた財政制約をふまえつつ、**行政として果たすべき機能を極力維持するための公共施設のあり方**を考える必要があります。

補足：公共施設再編方針とは

公共施設再編方針（2014.7策定）

- 人口減少による市税等の減少が見込まれる一方、施設建替等に多額の費用が必要になると見込まれます。
- このことから、よりよい市民サービスと持続可能な行財政経営の実現に向け、「**①総量抑制**」「**②有効活用・適正管理**」、「**③民間活力の活用**」の3つを基本方針に、市の公共施設157施設について再編方針を定めたものです。

補足：公共施設再編方針における方針内容と現状（一部）

施設	目標年度	方針内容	現状
市庁舎	H35	建替え。分庁舎は統合。	財政状況の悪化等により検討が遅れている。
小中学校	H35	長期的に2校も視野に4校へ統合。閉校となる小学校跡地へ地域の主要施設を中心に機能集約。	経田・道下を除き小学校は統合。学校以外の用途とする場合、法令に基づく改修費が難点。
保育園	H35	統合を進めるとともに民間へのシフトを図る。	愛育園は閉園。西布施は閉園予定。住吉は民営化予定。
児童センター	H35	こぼと児童センターは小学校統廃合と合わせて廃止。その他4施設は当面維持。	こぼと児童センターは廃止。
福祉センター	H30	百楽荘及び経田福祉センターは廃止。跡地は民間貸与や譲渡など有効活用。	百楽荘、経田福祉センターとも廃止。
公民館	H35	耐震性のある小学校跡地へ機能集約。	村木、片貝は小学校跡地へ集約。
博物館	H47	水族博物館は改修・改築、新築移転の検討を進める。歴史民俗博物館は小学校跡地へ機能集約。	
学びの森交流館	H35	体育施設、宿泊施設及び食事施設は廃止。	
総合体育館	H30	小中学校等体育館の活用も視野に廃止。	
温水プール	H30	建替え。整備及び管理運営には民間活力の活用。	
公営住宅	H30	老朽化施設については廃止、跡地は民間へ譲渡。	住替え及び解体を順次実行中。

補足：市の財政悪化と健全化に向けた取組み

基金残高が著しく減少し、今後、多額の取り崩しが不可能な状況になったことから、基金繰入に頼らない財政体質の構築に向け、財政健全化に取り組む必要があります。

財政健全化に向けた取組み

- ①投資的経費（公債費）の抑制
- ②公債費の平準化
- ③公共施設管理コスト縮減
→**公共施設再編（廃止・統合、経費見直し）の実施**
- ④事務事業の見直し
- ⑤人件費の圧縮
- ⑥歳入確保
→**使用料の見直し、市税徴収率向上**

2. 2040会議の役割

2040会議の役割

- 2040会議で検討された意見を取りまとめ、魚津市行財政改革推進委員会に対して提案します。
- 市の**財政健全化に向けた意見**の集約・整理が、基本路線になります。

あなたの役割

- 施設の運営に関わる者として、施設の利用者として、またはそのどちらでもない一般市民としてでも結構です。**率直な意見**をお願いします。

補足：論点提示（例）

公共施設再編方針に従って公共施設の再編を行っても、5年間の**財政健全化には今一歩届かない**とみられています。

では一体どうすればいいのか？（施設のあり方に限定して）

もっと**施設を廃止**しなければならないのかもしれない。

もっと**施設利用料を上げる**ことが必要なのかもしれない。

施設の開館時間などの見直しが必要かもしれない。

公共施設の**更新計画の見直し**が必要かもしれない。

3. 2040会議の進め方

第1回会議（本日）

★本日のゴール★

- 総合体育館、新川学びの森天神山交流館など各施設の維持・廃止等の方針について、グループごとに整理してください。
- 最後に各グループで整理された意見を共有します。
- グループワークの所要時間は**約 1 時間20分**です。

第2回会議（5月下旬）

- 各施設類型で維持・廃止する場合のそれぞれの課題・問題点、機能の代替などについて、できるだけ現実に即して検討します。

最後に：次回に向けて

いかがでしたか？

皆さんに、次回会議までの「**お願い**」です。

- 次回までに、本日出された方針のうち、ご自分が支持する方針を実行するうえで解決すべき課題について考えてきてください。
- 存続とした施設の利用条件（使用料や開館時間）、廃止とした場合の代替機能の確保、その他について各自検討してください。
- その際、皆さんのまわりの方々の意見も積極的に取り入れていただければ幸いです。